

## 飼料用 トウモロコシ フィールドデーの開催報告

先日9月18日、当社のトウモロコシ北上試験圃(現地 玉山村)でお客様(酪農家・普及所・農協担当者)を呼んでのトウモロコシフィールドデーを開催いたしました。

あいにく、圃場での品種紹介では不安定な天気の中ではございましたが参加者の方は皆、真剣に聞き入っておりました。

圃場で実際品種を見て、その後の検討会では、宮崎研究農場の木下研究員がトウモロコシ新品種及び各品種の特性の紹介をわかりやすく説明し、続いて東京本部園芸課の石井係長より、力強く、ラクトL及び新製品の「サイロ見張り番」を紹介、説明しました。

トウモロコシ品種のラインナップでは、東北でご愛顧いただいていた『アラミス』が今年で販売中止となるため、新品種LG2608、LG2724の評価を実際にお客様に確認していただき、出来の良さで高い評価をいただきました。

この有望な2品種はLG2608をRM114とし、主に岩手県北中心に。LG2724をRM118とし、岩手県南を中心に来年からの販売を予定しております。



質疑・応答では、岩手県南・県北のトウモロコシ生育状況等の情報交換・意見交換を行いました。

今年はトウモロコシの生育は全般的に遅くて実の入りが悪く、収量ダウンが予測される懸念があるとの声も上がりました。

昨今は、熊の被害や酪農家戸数の減少等でトウモロコシの作付面積は減少傾向にありますが、トウモロコシサイレージは栄養価に優れ、嗜好性の良い安定した自給飼料であることから当社優良トウモロコシ品種の作付をお勧めいたします。

(北上営業所 迫田)



**雪印種苗株式会社**  
編集発行人 菊地 庸  
本社 004-8531 札幌市厚別区上野幌 一条五丁目一番八号  
TEL 〇一一〇八九一一五九一一  
東北事業部  
024-004 北上市村崎野 一四地割一七四一—  
TEL 〇一九七六六一二二二六  
FAX 〇一九七七一一三三〇七